



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和6年度

全体実施設計

駅館川地区環境調査その他業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

直接経費(電子成果品作成費を除く)内訳

74,000

直接経費(電子成果品作成費を除く)

1.000

式

74,000

・直接経費(電子成果品作成費を除く)

1.000

式

74,000

・直接経費(電子成果品作成費を除く)

1.000

式

74,000

・ ・ ・ 旅費交通費（設計）

1.000

式

68,000

・ ・ ・ その他

1.000

式

6,000

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	全体実施設計					
業務名	駅館川地区環境調査その他業務					
業務別業務名:駅館川地区環境調査その他業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S63003	1 . 準備作業		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師 (A)					
		1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B)					
		1.000	人	47,200	47,200	
R04006	技師 (C)					
		1.000	人	38,400	38,400	
	合 計				175,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		175,000	
	*** S単 - 2号 ***					
S63003	2 . 魚類等調査 (内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.50人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	4.50人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04004	技師 (A)					
		1.500	人	57,000	85,500	
R04005	技師 (B)					
		3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師 (C)					
		4.500	人	38,400	172,800	
R04007	技術員					
		3.000	人	33,600	100,800	
	合 計				500,700	算出数量 1.000 式
	単 価		式		500,700	
	*** S単 - 3号 ***					
S63003	3 . 環境配慮計画 (案) の更新		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	1.00人				
R04003	主任技師					
		0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師 (A)					
		1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B)					
		2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師 (C)					
		2.000	人	38,400	76,800	
R04007	技術員					
		1.000	人	33,600	33,600	
	合 計				294,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		294,200	

事業名 全体実施設計						
業務名 駅館川地区環境調査その他業務						
業務別業務名:駅館川地区環境調査その他業務						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 4号 ***					
S63003	4 . 土地改良事業計画書 (案) 等の更新 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	1.00人				
	5)技師 B の人数	2.00人				
	6)技師 C の人数	2.00人				
	7)技術員の人数	1.00人				
R04003	主任技師	0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師 (A)	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B)	2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師 (C)	2.000	人	38,400	76,800	
R04007	技術員	1.000	人	33,600	33,600	
	合 計				294,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		294,200	
	*** S 単 - 5号 ***					
S63003	5 . 点検とりまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	1.00人				
	5)技師 B の人数	2.00人				
	6)技師 C の人数	3.00人				
	7)技術員の人数	1.00人				
R04003	主任技師	0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師 (A)	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B)	2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師 (C)	3.000	人	38,400	115,200	
R04007	技術員	1.000	人	33,600	33,600	
	合 計				332,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		332,600	
	*** S 単 - 6号 ***					
S63007	2 . 魚類等調査 (外業) 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	1.50人				
	5)技師 B の人数	3.00人				
	6)技師 C の人数	1.50人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A) 外業	1.500	人	57,000	85,500	
R04005	技師 (B) 外業	3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師 (C) 外業	1.500	人	38,400	57,600	
	合 計				284,700	算出数量 1.000 式
	単 価		式		284,700	

事業名 全体実施設計						
業務名 駅館川地区環境調査その他業務						
業務別業務名: 駅館川地区環境調査その他業務						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 7号 ***					
S63007	外業移動に係る基準日額		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間: 0.0		
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	0.50人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04004	技師(A)					
	外業	0.500	人	57,000	28,500	
R04005	技師(B)					
	外業	1.000	人	47,200	47,200	
R04006	技師(C)					
	外業	0.500	人	38,400	19,200	
	合 計				94,900	算出数量 1.000 式
	単 価		式		94,900	
	*** S 単 - 8号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	一般工程, 着手前・最終, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人, 0.5日, 0.2日			豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1)設計工程	一般工程		深夜時間: 0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.200日				
R04003	主任技師					
		0.700	人	64,800	45,360	
R04004	技師(A)					
		0.700	人	57,000	39,900	
	合 計				85,260	算出数量 1.000 回
	単 価		回		85,260	
	*** S 単 - 9号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	一般工程, 中間, 0.00人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.5日, 0.2日			豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1)設計工程	一般工程		深夜時間: 0.0		
	2)打合せ	中間				
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.200日				
R04004	技師(A)					
		0.700	人	57,000	39,900	
R04005	技師(B)					
		0.700	人	47,200	33,040	
	合 計				72,940	算出数量 1.000 回
	単 価		回		72,940	
	*** S 単 - 10号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	一般工程, 着手前・最終, 通勤により打合せ,,, 一般交通機関, 0日,, L < 100km (100km未満)			豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1)設計工程	一般工程		深夜時間: 0.0		
	2)打合せ内容	着手前・最終				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
P54205	設計用技師（Ｃ）日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54003	設計用技師（Ａ）宿泊費 （乙地）消費税抜き（６級相当）	1.000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師（Ｂ）宿泊費 （乙地）消費税抜き（４級相当）	1.000	人	8,909	8,909	
P54005	設計用技師（Ｃ）宿泊費 （乙地）消費税抜き（３級相当）	1.000	人	8,909	8,909	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	7,290	7,290	
M28121	ライトバン[ガソリン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,650	3,300	
P34001	ガソリン ＪＩＳ２号 レギュラースタンド	10.800	L	163	1,760	
	合 計				45,077	算出数量 1.000 式
	単 価		式		45,077	
	*** S単 - 13号 ***					
S63017	魚類等調査（技師B 1人分宿泊費・日当）		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費（設計外業宿泊用） 乙地、ライトバン、0.50日、0日、2時間、なし、100km L（100km以上）			時間的制約：なし 夜間制約作業時間：0.0	制約作業時間：0.0 冬期補正：なし	
	1) 宿泊地	乙地		豪雪補正：なし	亜熱帯補正：なし	
	2) 交通機関区分	ライトバン		基本給時間：8.0	超勤時間：0.0	
	3) 高速道路往復料金（税別）	0円		深夜時間：0.0		
	4) 鉄道往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	5) バス往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	6) 船舶往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	7) 航空往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	8) 往復移動日数	0.50日				
	9) ライトバン使用日数	0日				
	10) 時間区分	2時間				
	11) 補正区分	なし				
	12) 技師長外業日数	0.000日				
	13) 主任技師外業日数	0.000日				
	14) 技師A外業日数	0.000日				
	15) 技師B外業日数	1.500日				
	16) 技師C外業日数	0.000日				
	17) 技術員外業日数	0.000日				
	18) 往復移動距離区分	100km L（100km以上）				
P54204	設計用技師（Ｂ）日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54004	設計用技師（Ｂ）宿泊費 （乙地）消費税抜き（４級相当）	1.000	人	8,909	8,909	
	合 計				10,909	算出数量 1.000 式
	単 価		式		10,909	
	*** S単 - 14号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1、A - 4、400.5cm、0			時間的制約：なし 夜間制約作業時間：0.0	制約作業時間：0.0 冬期補正：なし	
	1) 報告書部数(部)	1.000		豪雪補正：なし	亜熱帯補正：なし	
	2) 規格区分	A - 4		基本給時間：8.0	超勤時間：0.0	
	3) 枚数区分(枚)	400		深夜時間：0.0		
	4) 厚さ区分	5cm				
	5) CD-R枚数(枚)	0.000				
P43406	報告書焼付代（コピ - ） A - 4 以下 4 0 0 枚	1.000	部	5,400	5,400	
P43542	簡易加除式ファイル A 4 縦型幅5cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	591	591	
P43602	C D - R C D - R (記録面色素フタロシアニン) 7 0 0 MB	0.000	枚	47	0	
	合 計				5,991	算出数量 1.000 式
	単 価		式		5,991	

令和6年度 全体実施設計
駅館川地区環境調査その他業務

特 別 仕 様 書

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総 則

(適用範囲)

第1-1条 令和6年度全体実施設計 駅館川地区環境調査その他業務の施行に当たっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目 的)

第1-2条 本業務は、国営かんがい排水事業「駅館川地区」の実施に当たり、事業計画策定の一環として、環境調査、環境配慮計画（案）及び土地改良事業計画書（案）の更新を行うものである。

(場 所)

第1-3条 本業務の対象位置は、大分県宇佐市地内で別添位置図に示すとおりとする。

(土地への立入り等)

第1-4条 作業実施のための土地の立入り等は、共通仕様書第1-16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

(一般事項)

第1-5条 業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 業務実施の順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、業務の円滑な進捗を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有するものとする。
- (3) 受注者は業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

第1-6条 (1) 管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次の表のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学 農業－農村地域計画 農業－農村地域・資源計画 環境－環境保全計画 環境－自然環境保全
	農業	農業土木、農業農村工学、農村地域計画、農村地域・資源計画、農村環境

	環境	環境保全計画、自然環境保全
博士	当該業務に関連する学術部門	—
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	—

(2) 別紙 1 に記載されている割合を予定価格に乗じて求めた価格を下回る価格で契約した場合においては、管理技術者は屋外で行う作業の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

(担当技術者)

第 1－7 条 担当技術者は、共通仕様書第 1－8 条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第 1－8 条 共通仕様書第 1－11 条における業務組織計画の作成並びに共通仕様書第 1－12 条に基づく技術者情報の登録に当たっては、次によるものとする。

(1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。

(2) 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

(保険加入)

第 1－9 条 受注者は、共通仕様書第 1－37 条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提出しなければならない。

第 2 章 作業条件

(適用する図書)

第 2－1 条 本業務の基本的事項に関しては、次の基準・指針等を優先して適用する。他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を得るものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
1	農業農村整備事業計画作成便覧	農業農村整備事業 計画研究会	平成 15 年 8 月
2	環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の手引き(第 1 編)	農林水産省 HP に掲載	平成 14 年 3 月
3	環境との調和に配慮した事業実施のため	農林水産省 HP に掲載	平成 15 年 4 月

	の調査計画・設計の手引き（第2編）		
4	環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の技術指針	（社）農業農村工学会	平成27年5月
5	農業農村整備事業における景観配慮の手引き	農林水産省 HP に掲載	平成18年8月
6	農業農村整備事業における景観配慮の技術指針	（社）農業農村工学会	平成30年5月

（設計及び作業条件）

第2-2条 本業務における設計及び作業条件は、次のとおりである。

（1）調査対象範囲

大分県宇佐市地内で別添位置図に示す頭首工（宇佐西部頭首工、広瀬頭首工、平田頭首工）。

（参考図書）

第2-3条 設計作業の参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるほか次表によるものとする。

番号	図書・資料名	発行所	制定（改訂） 年月
1	環境省レッドリスト2020	環境省	令和2年3月
2	レッドデータブックおおいた2022	大分県	令和4年3月

（貸与資料等）

第2-4条 貸与資料は、次のとおりである。

番号	資料名	数量
1	令和5年度地区調査駅館川地区環境配慮計画（案）とりまとめ業務報告書	1式
2	令和5年度地区調査駅館川地区事業計画書（案）とりまとめ業務報告書	1式
3	令和4年度地区調査駅館川地区環境配慮計画（案）補足整理業務報告書	1式
4	令和3年度地区調査駅館川地区環境配慮計画補足検討業務報告書	1式
5	国営土地改良事業計画書の記載方法（農業用排水）令和5年8月	1式
6	その他業務実施上、監督職員が必要と認める資料	1式

（参考図書及び貸与資料の取扱い）

第2-5条 第2-3条及び第2-4条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

（1）参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

（2）参考図書は、作業時点の最新版を用い作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。

- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。
- (4) 第2-4条に示す資料以外の貸与資料がある場合には、その旨監督職員から指示する。

(関連業務)

第2-6条 本業務と関連する他業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに協調の図られた設計としなければならない。

番号	業 務 名	業務実施期間 (予定)
1	令和6年度全体実施設計 駅館川地区施設計画等検討業務	令和6年4月～ 令和7年2月

第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

第3-1条 本業務における作業項目及び数量は、次のとおりである。

なお、詳細は別紙2【作業項目内訳表】に示すものとする。

【作業項目表】

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 準備作業	1 式	
2. 魚類等調査	1 式	
3. 環境配慮計画（案）の更新	1 式	
4. 土地改良事業計画書（案）等の更新	1 式	
5. 点検とりまとめ	1 式	

(作業の留意点)

第3-2条 設計作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第2-3条、第2-4条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (3) 業務履行中において、一部成果物の提出を求めることがあるが、受注者はこれに協力するものとする。
- (4) 共通仕様書第1-11条に基づき作成する業務計画書には、技術提案書の添付は行わないものとする。

(業務写真における黒板情報の電子化)

第3-3条 黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情

報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得た上で黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（１）から（４）によりこれを実施するものとする。

（１）使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

（２）機器等の導入

ア 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

イ 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

（３）黒板情報の電子的記入に関する取扱い

ア 受注者は、（１）の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

イ 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。

なお、上記アに示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）６ 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

ウ 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

（４）写真の納品

受注者は、（３）に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品URL(https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html)のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

（５）費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第４章 打合せ

（打合せ）

第４－１条 共通仕様書第１－１０条による打合せについては、主として次の段階で行うものと

する。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 作業着手の段階

第2回 中間打合せ（魚類等調査結果のとりまとめ段階）

第3回 中間打合せ（環境配慮計画（案）更新作業のとりまとめ段階）

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

打合せ方法については、対面方式からW e b方式に変更する場合がある。

ただし、別紙1に記載されている割合を予定価格に乗じて求めた価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第5章 成果物

（成果物）

第5－1条 成果物を共通仕様書第1－17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

（1）成果物の電子媒体（C D－R等） 正副2部

（2）成果物の出力 1部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

（成果物の提出先）

第5－2条 成果物の提出先は、次のとおりとする。

福岡県久留米市荒木町白口891-20

九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所

第6章 契約変更

（契約変更）

第6－1条 業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

（1）第2－2条に示す「設計及び作業条件」に変更が生じた場合

（2）第3－1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合

（3）第4－1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合

（4）第5－1条に示す「成果物」に変更が生じた場合

（5）履行期間の変更が生じた場合

（6）その他

第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

第7－1条 この特別仕様書に定めなき事項又は、この業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙 1（第 1－6 条、第 4－1 条関連）

【割合】

予定価格算出の基礎となった同表 A～D までに掲げる額の合計額に 100 分の 110 を乗じて得た額を予定価格で除して得た割合とする。ただし、その割合が 10 分の 8 を超える場合にあっては 10 分の 8 とし、10 分の 6 に満たない場合にあっては 10 分の 6 とするものとする。

業種区分	A	B	C	D
設計業務	直接人件費の額	直接経費の額	その他原価の額 に 10 分の 9 を乗 じて得た額	一般管理費等の 額に 10 分の 4.8 を 乗じて得た額

別紙 2

【作業項目内訳表】

作 業 項 目	作 業 内 容
1. 準備作業	貸与資料の内容を把握し、業務計画を樹立する。
2. 魚類等調査	<p>1) 調査時期・回数 夏季（7月中）に1回</p> <p>2) 調査地点 3 地点（宇佐西部頭首工、広瀬頭首工、平田頭首工）</p> <p>3) 調査方法 対象頭首工の直下流から 100m程度の範囲（頭首工直下の川幅：宇佐西部頭首工約 40m、広瀬頭首工約 80m、平田頭首工約 180m）において、素潜りによる目視観察等を行い、魚種、概略個体数のほか、魚類の^{いしゅう}蟠集（一か所に寄り集まる）位置等の分布状況を記録する。</p> <p>4) 調査対象種 調査対象範囲における魚類を主な調査対象種とするが、回遊性甲殻類の生息状況においても、調査時に確認されたものについては、種の記録を行う。</p> <p>5) 魚類等の生息状況の整理 魚類等の現地調査結果を整理する。</p>
3. 環境配慮計画（案）の更新	上記 2 の調査結果等を踏まえて、環境配慮計画（案）を更新する。
4. 土地改良事業計画書（案）等の更新	地区調査でとりまとめた土地改良事業計画書（案）及び土地改良事業計画書（案）補足説明資料について、本業務の上記 2 及び 3 の結果を反映し、「第 3 章 6 節 地域環境の概要」及び「第 8 章 環境との調和への配慮」を更新する。
5. 点検とりまとめ	各作業項目の成果資料の点検及びとりまとめを行い、報告書を作成する。

別添 位置図

